

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2020年7月13日

【四半期会計期間】 第49期第3四半期(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

【会社名】 株式会社カワサキ

【英訳名】 Kawasaki & Co.,Ltd

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 川崎 治

【本店の所在の場所】 大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目9番10号

【電話番号】 072-439-8011(代表)

【事務連絡者氏名】 管理部部長 池田 喜章

【最寄りの連絡場所】 大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目9番10号

【電話番号】 072-439-8011(代表)

【事務連絡者氏名】 管理部部長 池田 喜章

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第3四半期 連結累計期間	第49期 第3四半期 連結累計期間	第48期
会計期間	自 2018年9月1日 至 2019年5月31日	自 2019年9月1日 至 2020年5月31日	自 2018年9月1日 至 2019年8月31日
売上高 (千円)	1,479,495	1,206,479	1,903,915
経常利益 (千円)	268,825	280,652	361,659
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	178,280	188,398	241,266
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	178,063	188,398	241,048
純資産額 (千円)	4,041,357	4,239,020	4,104,342
総資産額 (千円)	6,833,859	6,446,860	6,649,964
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	82.97	87.68	112.28
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	59.1	65.8	61.7

回次	第48期 第3四半期 連結会計期間	第49期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年3月1日 至 2019年5月31日	自 2020年3月1日 至 2020年5月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	24.46	25.97

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による店舗の一時休業等を行っていることから、当社グループにおいても業績への影響を受けております。今後の動向によっては、業績にさらなる影響を及ぼす可能性があることから、引き続き注視してまいります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大等の影響により大きく減退しており、今後の国内外への影響に対する懸念等から先行きに不透明感が増しております。

このような状況下、当社グループの服飾事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛要請等により直営店等で休業を余儀なくされており、業績への影響を受けております。賃貸・倉庫事業におきましては、前年度に取得した太陽光発電所の安定稼働と空き倉庫の賃貸先募集に取り組みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は売上高1,206,479千円（前年同四半期連結累計期間比18.5%の減少）、営業利益282,009千円（前年同四半期連結累計期間比4.3%の増加）、経常利益280,652千円（前年同四半期連結累計期間比4.4%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益188,398千円（前年同四半期連結累計期間比5.7%の増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

服飾事業

当事業部門におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛要請等による直営店等の休業により業績への影響を受けております。その結果、売上高は448,425千円（前年同四半期連結累計期間比38.5%の減少）となり、営業損失は26,792千円（前年同四半期連結累計期間は営業損失33,385千円）となりました。

賃貸・倉庫事業

当事業部門におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は軽微であり、業績は底堅く推移しました。その結果、売上高は758,053千円（前年同四半期連結累計期間比1.0%の増加）となり、営業利益は307,959千円（前年同四半期連結累計期間比1.7%の増加）となりました。

(2) 財政状態の分析

流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて6,687千円(1.1%)増加し、616,720千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が4,469千円、商品及び製品が60,091千円増加し、受取手形及び売掛金が27,352千円減少したことによるものであります。

固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて209,791千円(3.5%)減少し、5,830,140千円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が150,618千円、機械装置及び運搬具が32,596千円減少したことによるものであります。

流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて158,671千円(11.3%)減少し、1,249,479千円となりました。この主な要因は、未払法人税等が79,540千円が減少したことによるものであります。

固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて179,110千円(15.7%)減少し、958,360千円となりました。この主な要因は、長期借入金が183,990千円減少したことによるものであります。

純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて134,678千円(3.3%)増加し、4,239,020千円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を188,398千円計上したものの、配当による減少53,720千円があったことによるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	11,400,000
計	11,400,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年7月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,901,000	2,901,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は、 100株であります。
計	2,901,000	2,901,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年3月1日 ~2020年5月31日		2,901,000		564,300		465,937

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年2月29日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 752,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,148,100	21,481	
単元未満株式	普通株式 800		
発行済株式総数	2,901,000		
総株主の議決権		21,481	

(注) 「完全議決権株式(自己株式等)」欄の普通株式は、全て当社保有の自己株式であります。

【自己株式等】

2020年2月29日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社カワサキ	大阪府泉北郡忠岡町新浜 2丁目9番10号	752,100		752,100	25.92
計		752,100		752,100	25.92

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年9月1日から2020年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	124,903	129,372
受取手形及び売掛金	67,721	40,368
商品及び製品	323,728	383,819
原材料及び貯蔵品	49,854	46,480
その他	43,940	17,315
貸倒引当金	115	638
流動資産合計	610,032	616,720
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,367,909	2,217,291
機械装置及び運搬具（純額）	361,467	328,870
土地	3,019,095	3,019,095
その他（純額）	10,536	8,310
有形固定資産合計	5,759,008	5,573,567
無形固定資産	37,076	29,862
投資その他の資産		
繰延税金資産	76,096	77,065
その他	176,481	152,132
貸倒引当金	8,731	2,487
投資その他の資産合計	243,847	226,710
固定資産合計	6,039,932	5,830,140
資産合計	6,649,964	6,446,860

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,307	1,809
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	279,900	265,080
未払費用	42,945	39,162
未払法人税等	113,153	33,613
賞与引当金	2,554	3,524
その他	214,289	156,289
流動負債合計	1,408,150	1,249,479
固定負債		
長期借入金	485,440	301,450
役員退職慰労引当金	202,716	205,033
資産除去債務	220,014	220,576
その他	229,300	231,300
固定負債合計	1,137,471	958,360
負債合計	2,545,621	2,207,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,300	564,300
資本剰余金	468,338	468,338
利益剰余金	3,547,835	3,682,514
自己株式	476,131	476,131
株主資本合計	4,104,342	4,239,020
純資産合計	4,104,342	4,239,020
負債純資産合計	6,649,964	6,446,860

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)
売上高	1,479,495	1,206,479
売上原価	731,271	572,185
売上総利益	748,224	634,293
販売費及び一般管理費	477,944	352,284
営業利益	270,279	282,009
営業外収益		
受取利息	0	0
還付加算金	612	-
受取保険金	730	-
受取手数料	612	335
その他	1,377	494
営業外収益合計	3,332	829
営業外費用		
支払利息	2,644	1,888
為替差損	206	235
会員権償還損	1,500	-
その他	435	62
営業外費用合計	4,787	2,186
経常利益	268,825	280,652
特別利益		
受取保険金	90,298	3,671
特別利益合計	90,298	3,671
特別損失		
災害による損失	82,055	-
店舗閉鎖損失	2,090	-
特別損失合計	84,146	-
税金等調整前四半期純利益	274,977	284,324
法人税、住民税及び事業税	116,734	96,893
法人税等調整額	20,038	968
法人税等合計	96,696	95,925
四半期純利益	178,280	188,398
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	178,280	188,398

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	178,280	188,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	217	-
その他の包括利益合計	217	-
四半期包括利益	178,063	188,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,063	188,398
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
減価償却費	197,734千円	197,405千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月12日 取締役会	普通株式	26,860	12.50	2018年8月31日	2018年11月29日	利益剰余金
2019年4月10日 取締役会	普通株式	26,860	12.50	2019年2月28日	2019年5月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月11日 取締役会	普通株式	26,860	12.50	2019年8月31日	2019年11月29日	利益剰余金
2020年4月14日 取締役会	普通株式	26,860	12.50	2020年2月29日	2020年5月12日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	728,689	750,805	1,479,495		1,479,495
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	728,689	750,805	1,479,495		1,479,495
セグメント利益又は損失()	33,385	302,823	269,437	841	270,279

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去841千円の調整であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	448,425	758,053	1,206,479		1,206,479
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	448,425	758,053	1,206,479		1,206,479
セグメント利益又は損失()	26,792	307,959	281,167	841	282,009

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去841千円の調整であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	82円97銭	87円68銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	178,280	188,398
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	178,280	188,398
普通株式の期中平均株式数(株)	2,148,808	2,148,808

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【その他】

第49期(2019年9月1日から2020年8月31日まで)中間配当については、2020年4月14日開催の取締役会において、2020年2月29日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	26,860千円
1株当たりの金額	12円50銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年5月12日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月13日

株式会社カワサキ
取締役会 御中

仰 星 監 査 法 人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 高 田 篤 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 池 上 由 香 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カワサキの2019年9月1日から2020年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年9月1日から2020年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カワサキ及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。